



日本共産党松浦市議会議員  
**安江ゆう子の市議会だより**

3月議会

## 安江市議の一般質問

日本共産党の安江ゆう子市議は2018年3月議会で、玄海原発再稼働、乗り合いバス、子ども医療費・福祉医療費の現物給付、学校給食費の半額助成、星鹿町の公営住宅について一般質問しました。

### 松浦市民の願いは「再稼働反対」

福島原発事故から7年がたっても、多くの方々が避難を余儀なくされ、被害の補償も十分にされず、事故の原因もいまだに究明されておりません。その様な中、玄海原発3号機は3月23日に再稼働しましたが、わずか1週間で配管から蒸気が漏れるトラブルを起こしています。安江ゆう子市議は、新市長に玄海原発再稼働について質問しました。

#### 玄海原子力発電所の再稼働に反対する決議

東京電力福島第一原子力発電所の事故は未曾有の災禍をもたらし、その被害地域の広さ、被災者の数においても史上まれにみる最悪の事故となった。今なお放射線量は高く、除染も不十分という不安の中で避難生活を強いられている人たちがまだ数多くいる。汚染水や除染土壌もそのままであり、事故から7年を迎える今もなお、多くの問題が解決されておらず、収束もしていない。加えて、震災を教訓とした、国の諸制度の改正もなされていないのが現状である。

今回の原子力災害は、発生原因の如何を問わず原子力発電の危険性を裏付ける結果となった。

昨年3月、長崎県は、九州電力玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に関する住民説明会を開催し、新規規制基準、原子力防災の取り組み等を説明したものの、出席した市民からは安全性や避難方法に関する不安、疑問の声が多く寄せられ、再稼働に対する反対の声が根強く存在するのが現状である。

この原子力発電所の再稼働は、国のエネルギー政策そのものであり、国の責任において、原子力発電所周辺地域に対する現制度の矛盾は、改正されるべきものとする。

本市は、全域が玄海原子力発電所から30km圏内（UPZ）にある。特に、鷹島地区は、最短距離で8.3kmに位置しており、事故が発生すれば玄海原子力発電所に近づいての避難方法しがなく、また、避難経路についても、伊万里市内での大渋滞、大混乱は避けられない。市と市議会において、この避難道路である佐賀県道の改良を国、長崎県及び佐賀県に要望しているが、未だ事業化の目途が示されていない。

また、福島地域の住民も老朽化した福島大橋を渡っての避難経路しがなく、不安を抱いている。さらに、本市は有人離島3島を抱え、高齢者も多く、全市民の避難は非常に困難を極めることとなる。

昨年4月23日に長崎県知事が国や九州電力株式会社に対し、「原子力安全対策の充実等に関する申し入れ」を行ったにもかかわらず、両者は玄海原子力発電所の再稼働を前提とした動きばかりに注力し、我々が求めている住民避難の実効性を確保するための改善策については何ら実行されていない。

このような中、本年2月20日に3号機の核燃料装填が完了し、再稼働に向けた取り組みが着実に進行していることは看過できるものではない。

よって、松浦市議会は、市民への不安が払拭されていないこと、また、市民の安全と安心を確保するための環境が整えられたとはいえないことから、玄海原子力発電所の再稼働に反対する。

以上、決議する。

平成30年3月8日

長崎県松浦市議会

3月8日市議会で玄海再稼働反対決議が全会一致で可決されました。

現時点での再稼働は容認できない。

安江 九電に対して直接、申入れを行うべきではありませんか。

市長 九電本社、原子力関係の方々に来庁時に伝えた。長崎県危機管理監に、4市要望が履行されないまま再稼働に向かっているのは遺憾である。

るので、国に対して速やかな対応を求めるように伝えた。

安江 同意権の法的整備についてはどう考えますか。

市長 前市長と同様、再稼働への同意権を与えるよう、法的整備について引き続き県と共に国へ要望して参りたい。

永久歯は一度失ってしまおうと二度と元に戻ることはないため、デントルケアは一生の健康を左右します。安江ゆう子市議は、全ての子どもが健康な歯を維持するため、経済状態に関わらず適切な予防と治療を受けられるように、歯科での現物給付化を進めることを求めました。

### 子ども達の歯を守るためにも、子ども医療費助成は現物給付に

ち虫歯のある子ども476人。※口腔崩壊の子どもは10人。

安江 長崎県保険医協会の調査では、口腔崩壊に至った原因として、経済的困窮が35%となっています。子ども医療費の現物給付に踏み出しているのでしょうか。

子育て・子ども課長 口腔内の健康格差は、保護者の歯の健康への意識を高める対策が改善へつなげると考える。

※口腔崩壊とは、多数の虫歯を治療せず放置するなど、口の中の状況が悪化した状態。ごはん程度の硬さのものも噛めなくなったり、呑み込みにくくなったりして、栄養状態が悪くなり、体の成長や脳の発達やあごの発達などに影響する恐れがある。歯科を受診できない背景として貧困問題との関連も注目され始めている。「口腔崩壊」でも診療費が払えないため、全く受診できない子どもたちが相当数いると推定される。

安江 市内学校の子どもの虫歯の状況はどうなっていますか。

学校教育課長 歯科検診を受けた子ども1785人、う